

1丁目法面崩落復旧工事説明会行われる

2月25日(土)1丁目法面崩落復旧工事の説明会が開催されました。1丁目の住民を中心に約50名の方が参加されました。大津市と工事業者の説明の後、質疑・応答に入り、たくさんの意見が出されました。特に交通問題や業者のマナー等多数の問題が提起されました。また、工事方法にも疑問を出された方もおられました。今回の工事はかなり大規模で難しいものであり、10月末までかかる予定です。学区自治連合会もたくさんの要望を出しています。工事中いろいろなこともあると思います。

学区自治連合会は1丁目自治会長を窓口にして皆様の要望を受けていきますのでよろしくお願いいたします。

窓口 最上 公彦 携帯 080-4722-8343



4月 ゴミカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						燃やせないごみ
2	3 プラ容器包装	4 燃やせるごみ	5	6 かん	7 燃やせるごみ	8 紙ごみ
9	10 プラ容器包装	11 燃やせるごみ	12	13 ペットボトル	14 燃やせるごみ	15 透明びん、茶色びん
16	17 プラ容器包装	18 燃やせるごみ	19 古紙回収(スポ少)	20 かん	21 燃やせるごみ	22 紙ごみ
23	24 プラ容器包装	25 燃やせるごみ	26	27 ペットボトル	28 燃やせるごみ	29(昭和の日)
30						

MBS毎日放送の謝罪について

MBS毎日放送は1月23日(月)VOICE横マン本舗において1丁目法面崩落問題について放映しました。しかし、学区自治連合会をはじめ自治会には一切の取材なく報道されたものでした。このことは、報道のあるべき姿からもかけ離れたもので謝罪を求めてきました。MBSはその非を認め回答してきましたのでお知らせします。

山中比叡平学区自治連合会様へ

このたび弊社MBSのニュース番組VOICEの放送内容に関する「抗議と謝罪の要請」の一文を拝読させていただきました。持田さまからご指摘のあった点についてお答えさせていただきます。

一点目は、地元自治会に一切取材することなく、あたかも自治会が何もしていないかのような報道になっている、というご指摘でした。取材の目的は、復旧工程の現状についてのレポートと、道路管理者である行政のありようについて問題提起させていただいたものです。決して、比叡平自治会がこれまで無策であったかのようなことを問題視するつもりは毛頭ございません。

ただ、一方の当事者である自治会の取材がなく、当事者の声が十分に反映されていないという点は、まさにご指摘の通りで、放送により関係者の方々の心証を害したということに思いをいたし、お詫び申し上げます。自治会の方々と大津市の担当者との間で時間をかけた話し合いをされ、ご苦勞されてきたということに思いをめぐらせるべきでした。

二点目の、バス問題については、比叡平の地域特性を考え、路線バスを維持するために自治会の方々がさまざまな形で苦勞されてきたことは理解いたしました。遠隔地の住宅街へのアクセスやインフラの問題は私どもローカル報道機関が伝えるべきテーマでもありません。比叡平のケースについても多角的な視点で今後も注視していきたいと考えています。

最後に、

私どもは、社会的に隅の隅に当たらない人たちの側にも、広く伝えるべき声があるとの思いで取材活動にあたっています。その声はときに多数の思いに反することもあります。地域社会のシステムからするとやっかいな“変数”に見えることもあります。しかし少数派の人たちの声に、システムを修正し、社会をなだらかにするヒントが含まれていることもあります。その声を届けることが、ローカル放送局の大切な役割ではないかと考えたのです。いくばくかのご理解を賜れば幸甚ではありますが、このたびの持田様のご指摘は真摯に受け止め、今後の報道活動に反映させていく所存であります。

2017年3月6日

MBS報道局ニュースセンター長

高山裕之



あなたの力が必要です

ボランティア募集のお知らせ

比叡平小学校では、朝の子どもたちの登校を見守っていただくスクールガードボランティアを募集しています。朝のわずかな時間を子どもたちのためにどうぞお貸してください。詳細は小学校 529-2596 まで